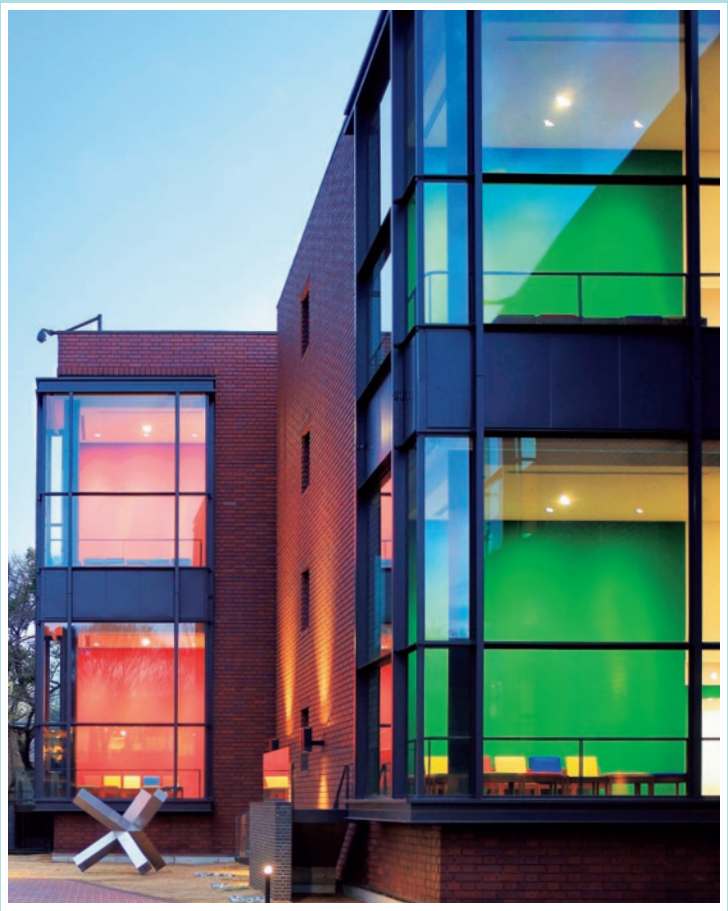
日本語

東京都美術館

［日本語］

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



ご案内／展覧会

2022.1～2022.12

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京都美術館の使命

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、
芸術家の卵が初めて出品する、障害のある人が何のためらいもなく来館できる――、
すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。
新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、
「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。
そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京都美術館の歩み

1926（大正15）年 ▶ 東京府美術館の創設

実業家・佐藤慶太郎から、当時の金額で100万円（現在の40億円相当）の寄付を受け、日本初の公立美術館として、1926年5月1日に開館。美術団体等による新作発表のほか、美術作家の回顧展や国内外の名品を紹介する展覧会を開催し、「美術の殿堂」として広く美術の魅力を伝える役割を担いました。

※1943（昭和18）年の都制施行に伴い、「東京都美術館」に名称変更

佐藤慶太郎（さとう・けいたろう）

1868（明治元）年 - 1940（昭和15）年。北九州市生まれ。「石炭の神様」と称された実業家。アメリカの鉄鋼王アンドリュー・カーネギーの慈善活動に共感し、東京府美術館の建設のほか、奨学金の創設や病院への寄付、国民生活改善運動の研究など、公共のために私財を投じました。

1975（昭和50）年 ▶ 新館の開館

旧美術館が手狭となり老朽化したため、前川國男の設計による新しい美術館を建設。生まれ変わった「東京都美術館」は、学芸員による企画展や作品収集にも力を注ぎ、本格的な美術館として活動を開始。今日のワークショップの源流となる教育普及活動をはじめ、一般に開放される美術図書室など、公立美術館の運営のさきがけとして活動しました。1995（平成7）年、東京都現代美術館の開館にともない、約3千点の収蔵作品と約5万冊の美術図書資料を移管しました。

2012（平成24）年 ▶ リニューアルオープン

多くの人々に親しまれた前川建築を受け継ぎつつ、ユニバーサルデザインを採り入れ、レストランやショップなども充実させる大規模な改修工事を実施。新たな企画展やアート・コミュニケーション事業を開始するなど、美術館としての魅力をより一層向上させる方針のもと、2012年4月1日に「新生・東京都美術館」として再出発しました。

ヤーコプ・ファン・ライスダール《城山の前の滝》1665-70年頃

ドレスデン国立古典絵画館

© Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden, Photo by Elke Estel

ドレスデン国立古典絵画館所蔵　フェルメールと17世紀オランダ絵画展

Johannes Vermeer and the Masters of the Golden Age of Dutch Painting
from the collection of the Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden

2022年1月22日（土）～4月3日（日）

ディエゴ・ベラスケス《卵を料理する老婆》1618年

スコットランド国立美術館

©Trustees of the National Galleries of Scotland

スコットランド国立美術館　THE GREATS　美の巨匠たち

THE GREATS. Masterpieces of the National Galleries of Scotland

2022年4月22日（金）～7月3日（日）

特別展

ドレスデン国立古典絵画館所蔵
フェルメールと17世紀オランダ絵画展

Johannes Vermeer and the Masters of the Golden Age of Dutch Painting
from the collection of the Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden

2022年1月22日(土)～4月3日(日)

修復によりキューピッドの画中画が姿を現したフェルメールの《窓辺で手紙を読む女》を修復後日本初公開。その他、ドレスデン国立古典絵画館のコレクションから、17世紀オランダ絵画の名品約70点を紹介します。

ヨハネス・フェルメール《窓辺で手紙を読む女》(修復後) 1657-59年頃　ドレスデン国立古典絵画館
© Gemäldegalerie Alte Meister, Staatliche Kunstsammlungen Dresden,
Photo by Wolfgang Kreische

特別展

スコットランド国立美術館　THE GREATS　美の巨匠たち

THE GREATS. Masterpieces of the National Galleries of Scotland

2022年4月22日(金)～7月3日(日)

世界有数の西洋絵画コレクションを有するスコットランド国立美術館から、ラファエロやベラスケス、レンブラント、モネ、ゴーガンなど、ルネサンス期から19世紀後半までの西洋絵画の巨匠たちの作品を展示します。

ジョシュア・レノルズ《ウォルドグレイヴ家の貴婦人たち》1780-81年
スコットランド国立美術館
©Trustees of the National Galleries of Scotland

都美セレクション グループ展 2022

Group Show of Contemporary Artists 2022

「たえて日本画のなかりせば：東京都美術館篇」パラレルモダンワークショップ
「もののこしかた」Summer Catch Salmon
「眼差しに熱がこぼれる」まなざしの熱

2022年6月11日(土)～7月1日(金)

新しい発想によるアートの作り手の支援を目的とした、企画公募による展覧会です。さまざまなジャンルの作品で、当館の展示空間だからこそ実現可能な、3グループによる展覧会を開催します。

［参考作品］歩火《移動式展示場+スーツケース型直写台》2021年
写真：吉江 淳

特別展

ボストン美術館展　芸術×力

Art & Power: From Pharaohs to Daimyōs.
Masterworks from the Museum of Fine Arts, Boston

2022年7月23日(土)～10月2日(日)

古今東西の権力者たちは、その力を示し、維持するために芸術の力を利用しました。本展では、エジプト、ヨーロッパ、インド、中国、日本などさまざまな地域で生み出された約60点の作品を通して、力とともにあった芸術の歴史を振り返ります。

増山雪斎《孔雀図》江戸時代、享和元年(1801) ボストン美術館
Museum of Fine Arts, Boston, Fenollosa-Weld Collection
Photograph © Museum of Fine Arts, Boston

企画展

フィン・ユールとデンマークの椅子

Finn Juhl and Danish Chairs

2022年7月23日（土）～10月9日（日）

デザイン大国として知られるデンマーク。椅子をテーマに、デンマーク家具デザインの変遷をたどるとともに、モダン家具の黄金期を築いたフィン・ユールに焦点をあて、その独創的なデザインが生み出された背景を探ります。

フィン・ユール《イージーチェア No. 45》1945年デザイン　織田コレクション

特別展

展覧会 岡本太郎

Okamoto Taro: A Retrospective

2022年10月18日（火）～12月28日（水）

1970年日本万国博覧会のテーマ館《太陽の塔》で知られ、今日でも幅広い世代の人々を魅了する芸術家・岡本太郎（1911-1996）。作家の芸術人生を振り返る、大回顧展を開催します。

©岡本太郎記念現代芸術振興財団

公募団体展・学校教育展

開館以来、美術や書などの公募団体に、作品発表の場を提供しており、現在は年間約260団体が「つくる喜びを共有する場」としてさまざまなジャンルの展覧会を行っています。また、美術系の高校や大学の卒業制作展や、児童生徒の作品展も数多く開かれています。

収蔵品の紹介

東京都美術館では、野外彫刻等の立体作品12件と書作品36点を収蔵しています。

青山杉雨《車馬囂々》

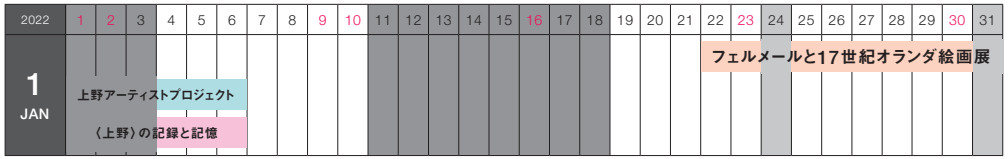
建畠覚造《さ傘（天の点滴をこの盃に）》1973年

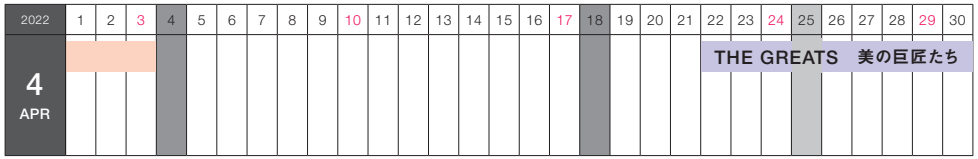
最上壽之《イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツネ……ン》1979年

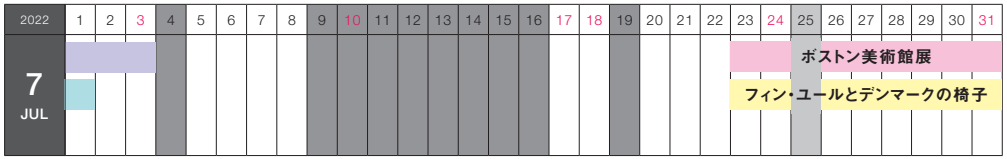
井上武吉《my sky hole 85-2　光と影》1985年

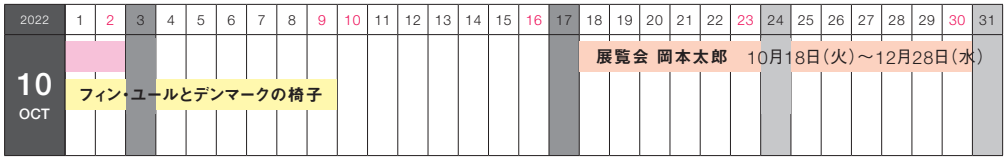
カレンダー

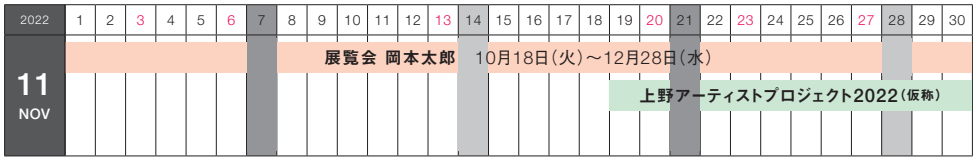
■ 全館休館日 → 第1、第3月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、整備休館、年末年始
■ 特別展・企画展休室日 → 月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）











※最新の情報は、東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。

アート・コミュニケーション事業

アートを媒介として、人々のつながりをはぐくむ活動をしています。
美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、
さまざまなプログラムを実施しています。

東京都美術館 × 東京藝術大学 とびらプロジェクト

東京都美術館と東京藝術大学、一般公募のアート・コミュニケータ（とびラー）が協働して行っている「ソーシャル・デザイン・プロジェクト」です。美術館を拠点に人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、さまざまな価値観を持つ多様な人々を結びつけるコミュニティのデザインに取り組んでいます。

museum start あいうえの

上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、こどもたちの“ミュージアム・デビュー”を応援。こどもと大人がフラットに学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。年間を通じて、小・中・高校生がミュージアムを活用することを目的としたプログラムを行っています。

クリエイティブ・エイジング（シニア世代対象）

誰もがクリエイティブに歳を重ねられる社会を目指し、シニア世代の方々を対象にした参加型の鑑賞や異世代交流の機会、認知症のある方を対象にしたプログラムなどを企画しています。

美術館を楽しもう!

前川國男、70歳の時の設計。上野公園の森に溶け込むように設計され、建物の約60％は地下に埋められています。そのため、正門から正面玄関は見えませんが、直線ではないアプローチや、機能ごとに分けられた建物、少しずつずらして配置された公募展示室など、ひとつの建築の中に、都市的な要素を取り入れた空間構成が特徴。ぱっと目を引く外壁は、一見レンガ造りのように見えますが、タイルでできていることも特徴のひとつです。

建築家 前川國男（まえかわ・くにお）

1905（明治37）年新潟市生まれ。1928（昭和3）年に東京帝国大学工学部建築学科を卒業・渡仏し、巨匠ル・コルビュジエのアトリエで学びました。帰国後、日本を代表する建築物を数多く手がけ、日本の近代建築史に大きな足跡を残しました。

撮影：廣田治雄

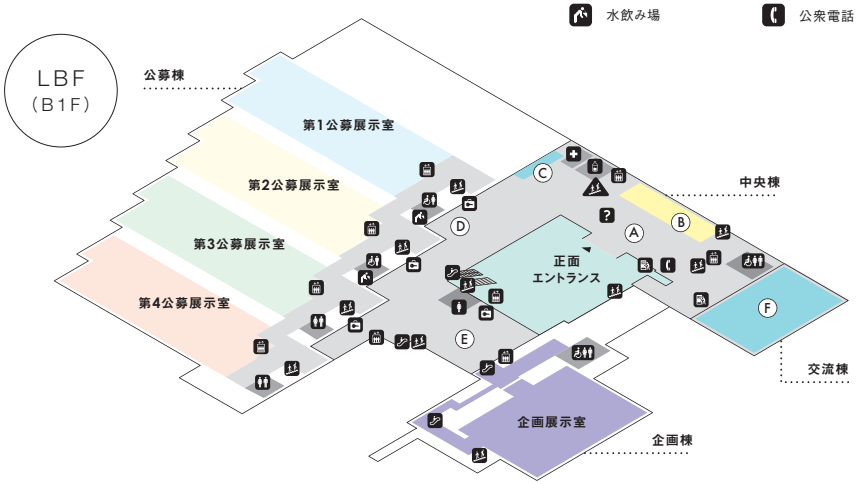
とびラーによる建築ツアー

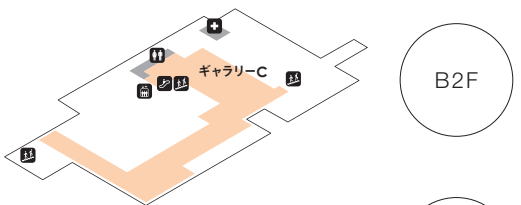
「建物そのものも楽しんでほしい」と、館内を散策。ガイドを務めるアート・コミュニケータの個性が光ります!

※原則として奇数月第3土曜日に開催。

館内のご案内

インフォメーション
トイレ
車椅子用トイレ
ロッカー
救護室
授乳室
水飲み場
エレベーター
エスカレーター
階段
カフェ
レストラン
自動販売機
公衆電話



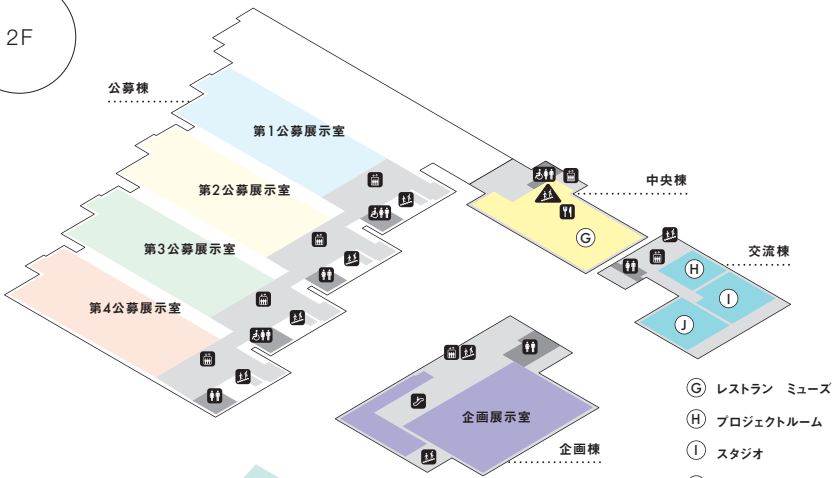


B2F

B3F

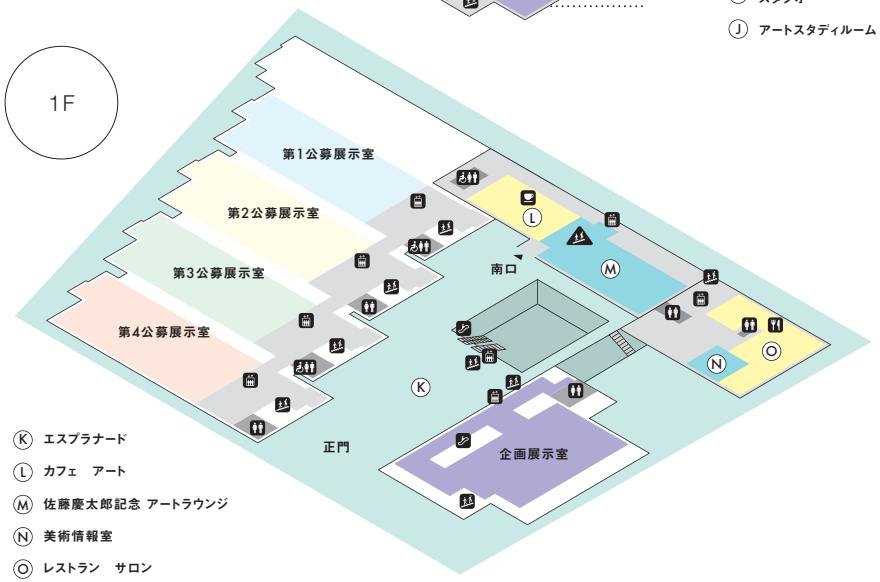
Ⓐ エントランスロビー
Ⓑ ミュージアムショップ
Ⓒ チケットカウンター
Ⓓ 公募棟ホワイエ
Ⓔ 企画棟ホワイエ
Ⓕ 講堂

2F



Ⓖ レストラン　ミューズ
Ⓗ プロジェクトルーム
Ⓘ スタジオ
Ⓙ アートスタディルーム

1F



Ⓚ エスプラナード
Ⓛ カフェ　アート
Ⓜ 佐藤慶太郎記念 アートラウンジ
Ⓝ 美術情報室
Ⓞ レストラン　サロン

館内施設のご案内

アメニティ事業

ミュージアムショップ

オリジナルグッズや伝統工芸品など、日々を彩るアイテムをご提供するショップです。

面積：127㎡／Tel. 03-5685-9110

中央棟LBF（B1F）

RESTAURANT MUSE（レストラン ミューズ）

洋食を中心に和食、キッズメニューも。お気軽にご利用いただけるカジュアルレストラン。

面積：481㎡／席数：200席／Tel. 03-5832-5551

中央棟2F

RESTAURANT salon（レストラン サロン）

本格フレンチダイニングをご提供。席の予約ができ、個室のご用意もあります。

面積：249㎡／席数：50席／Tel. 03-5832-5101

交流棟1F

cafe Art（カフェ アート）

コーヒーやスイーツ、軽食をご用意。アートの合間にほっとひと息。

面積：103㎡／席数：50席／Tel. 03-5832-5566

中央棟1F

貸出施設

佐藤慶太郎記念 アートラウンジ

ゆっくりご休憩できるラウンジです。東京都内の展覧会情報などへのアクセスもできます。

面積：391㎡／席数：52席／インターネット端末：6台

中央棟1F

講堂

講演会やシンポジウム、授賞式などが行えます。

面積：284㎡、舞台30㎡／定員：230名
（固定椅子225席＋車椅子用スペース 5席）

交流棟LBF（B1F）

美術情報室

美術図書・図録・雑誌などをゆっくり閲覧できるライブラリー。

面積：88㎡／席数：14席／蔵書冊数：約5万点

交流棟1F

スタジオ

会議や制作などを行う多目的室です。

面積：146㎡／定員：50名

交流棟2F

アクセシビリティ

車いすをご利用の方へ

館内でご利用いただける車いすの貸出をしています。車いす対応トイレも各フロアにあります。

車いす：28台（自走介助兼用）／無料

インフォメーションにて貸出

小さなお子さま連れの方へ

個室スペースのある授乳室をはじめ、ベビーカー貸出やミルク用お湯のサービスもあります。

ベビーカー：5台（対象月齢2〜24か月2台、1〜48か月3台）／無料

インフォメーションにてご案内

だれでもトイレ

大人が横たわれるサイズの介助用ベッドやオストメイト対応を備えた多機能トイレがあります。

インフォメーションにてご案内

コミュニケーション

インフォメーションでは、簡易筆談器やコミュニケーションボードをご用意しています。日本語、英語、中国語に対応しています。

インフォメーションにてご案内

ご利用案内

［開館時間］　9:30－17:30
※特別展開催中の金曜日は9:30－20:00　※いずれも入館は閉館時間の30分前まで

［休室日］　特別展・企画展：月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）
上記以外の展覧会：第1、第3月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）

［全館休館日］　第1、第3月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）／年末年始、整備休館

［入館料］　無料。観覧料は展覧会ごとに異なります

- JR上野駅「公園口」より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅「7番出口」より徒歩10分
- 京成電鉄「京成上野駅」より徒歩10分

※駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。

施設概要

○敷地面積：16,638.84㎡ ●建築面積：7,999.47㎡ ●延床面積：37,748.81㎡
［企画展示室］●LBF（B1F）：709㎡ ●1F：713㎡ ●2F：714㎡ ※天井高4.5m
［公募展示室］●LBF（B1F）第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●1F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●2F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ※全12室、天井高4.8m
［ギャラリー］●A（B3F）：412㎡、天井高 9.9m ●B（B3F）：303㎡、天井高3m ●C（B2F）：470㎡、天井高 2.4m／5.8m

東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
Tel. 03-3823-6921／Fax. 03-3823-6920
［ウェブサイト］https://www.tobikan.jp
［Twitter］tobikan_jp
［Facebook］TokyoMetropolitanArtMuseum

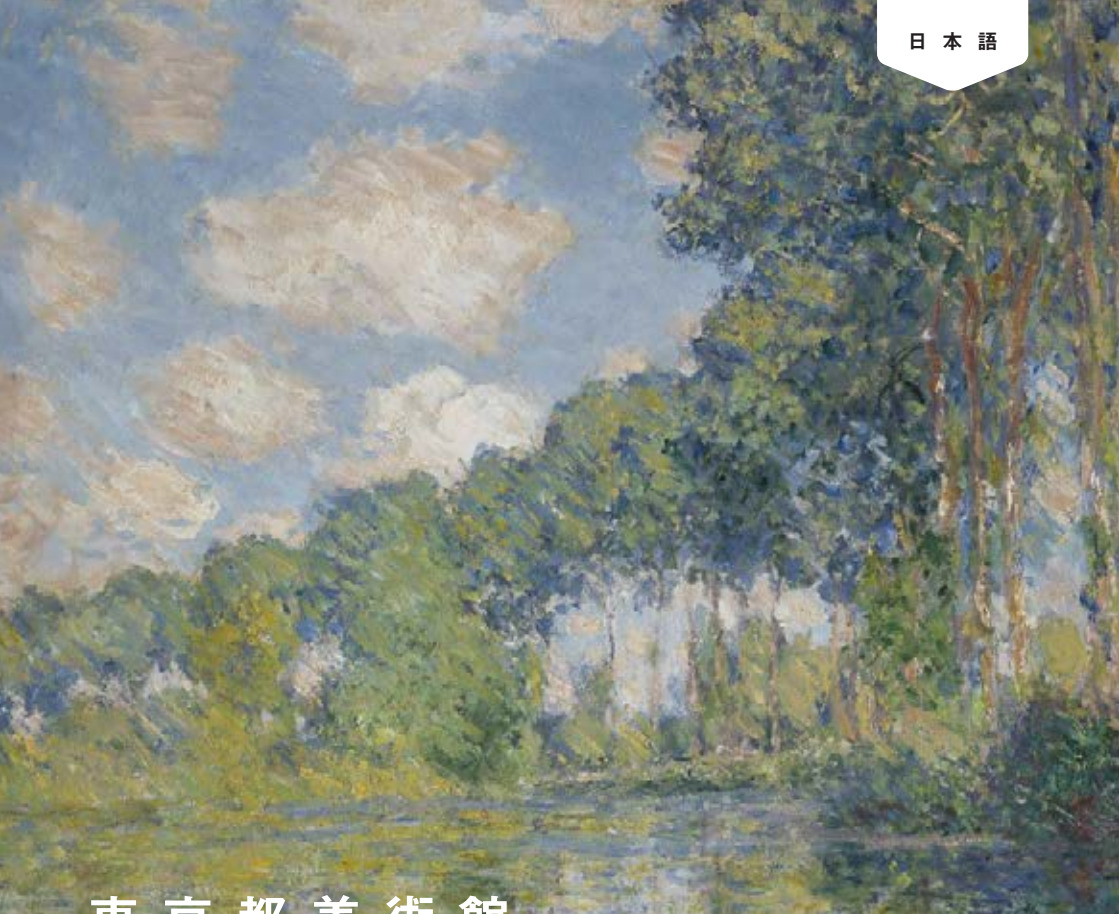
発行日：2022年1月20日
発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館
デザイン：opportune design inc.
印刷：望月印刷株式会社
© Tokyo Metropolitan Art Museum

FSC www.fsc.org ミックス 紙 FSC® C138625

VEGETABLE OIL INK

※新型コロナウイルス感染症対策等のため、記載内容を変更することがあります。最新情報は、当館ウェブサイトでご確認ください。
※広報誌「東京都美術館ニュース」のバックナンバーは、こちらからご覧いただけます。
https://www.tobikan.jp/archives/publication.html#news

日本語



東京都美術館

TOKYO
METROPOLITAN
ART
MUSEUM

ご案内／展覧会
2022.1～2022.12

クロード・モネ（エプト川沿いのポプラ並木）（部分）1891年　スコットランド国立美術館
©Trustees of the National Galleries of Scotland